

旅への思い
——芭蕉と『おくのほそ道』——

平安時代	
1000頃	『枕草子』
1008頃	『源氏物語』
12c	『今昔物語集』
1185	平家滅亡
鎌倉～室町時代	
1205	『新古今和歌集』
1212	『方丈記』
1235頃	『小倉百人一首』
13c頃	『平家物語』
1331頃	『徒然草』
1338	室町幕府開かれる
1600	関ヶ原の戦い
江戸時代	
1603	江戸幕府開かれる
1685	生類憐れみの令
1694頃	『おくのほそ道』

おくのほそ道

日本の紀行文学を代表する作品の一つ。行程約二千四百キロメートル、旧暦の三月二十七日から八月二十一日まで（現在の暦では五月十六日から十月四日まで）の、五か月にわたる旅を題材として書かれている。

